

セミナーのご案内

「成人期知的障害者のリスクと退行・老化」

～生涯発達支援と地域生活支援の今日的課題を考える～

知的障害のある方々を支援する際のキーワードとして近年、生涯発達支援と地域生活支援が重要であるとされてきました。生涯にわたって各ライフステージに合った支援を行うことが生涯発達支援であり、地域での生活をめざした支援が地域生活支援です。

生涯発達支援については、「生涯発達の過程で、いったん獲得、到達した日常生活の適応水準が、何らかの原因で低下し、以前の、獲得前の状態に戻る」いわゆる退行が支援現場をはじめとして、さまざまところで顕在化してきました。退行にはいくつかの種類がありますが、その実態は未だ正確にとらえられてはいません。そのため、本人や保護者、そして支援者が日々苦しんでいるのが現実です。地域生活支援については、携帯電話やインターネットの普及に伴う地域生活の在り方の変容が、支援現場のみならず、家庭、そして社会にも影響し、支援者自身の情報化社会との関わり方も含めて悩ましい問題となっています。

成人期知的障害者の生涯発達支援と地域生活支援のそれぞれにおける今日的課題に焦点をあて、退行・早期老化や情報化社会との関わり方について、支援や予防をめざした取り組みを参加される皆様と一緒に考え、今後に向けて少しでも前進できればと願い、このセミナーを企画いたしました。

講演テーマと講師

「成人期知的障害者の生涯発達支援 ～退行・老化を例に考える～」

菅野 敦（東京学芸大学教育実践研究支援センター）

「成人期知的障害者の地域生活支援 ～情報化社会との関わり方を考える～」

爲川 雄二（東北大学大学院教育情報学研究部）

「事例からみる成人期知的障害者の諸問題と支援」

橋本 創一（東京学芸大学教育実践研究支援センター）

日時：平成22年2月27日（土）

13：30～16：30（受付は13：00から）

会場：仙台市福祉プラザ 第1研修室（11階）

宮城県仙台市青葉区五橋2丁目12-2

参加費無料（どなたでも参加できます）

事前申し込み不要（当日、直接会場にお越し下さい）

主催：財団法人 日本発達障害福祉連盟

後援：東北大学大学院教育情報学研究部・教育部

問合せ先：爲川 雄二（東北大学大学院教育情報学研究部）

TEL&FAX 022-795-3116 e-mail tamechan@ei.tohoku.ac.jp

セミナー実施要項

13:00 受付開始

13:30 開会 司会：爲川 雄二（東北大学大学院教育情報学研究所）

13:30～14:30 講演1

「成人期知的障害者の生涯発達支援 ～退行・老化を例に考える～」

講師：菅野 敦（東京学芸大学教育実践研究支援センター 教授）

セミナー全体の趣旨と基本的な退行のとらえ方についてお話をさせていただきます。

続いて、成人期知的障害者の退行を、原因別にタイプに分けての説明と、それら退行を予防するための基本的な考え方についてお話をさせていただきます。

14:30～15:00 講演2

「成人期知的障害者の地域生活支援 ～情報化社会との関わり方を考える～」

爲川 雄二（東北大学大学院教育情報学研究所 助教）

近年における情報化社会への変容とその根本的な問題点をお話ししていただき、成人期知的障害者のみならず支援者自身の情報化社会との関わり方と、具体的な支援方法について、ご提案していただきます。

15:00～16:00 講演3

「事例からみる成人期知的障害者の諸問題」

橋本 創一（東京学芸大学教育実践研究支援センター 准教授）

成人期知的障害者の生涯発達支援と地域生活支援について、具体的な事例をお話ししていただき、成人期知的障害者が豊かな生活を送るための具体的な支援方法について、ご提案していただきます。

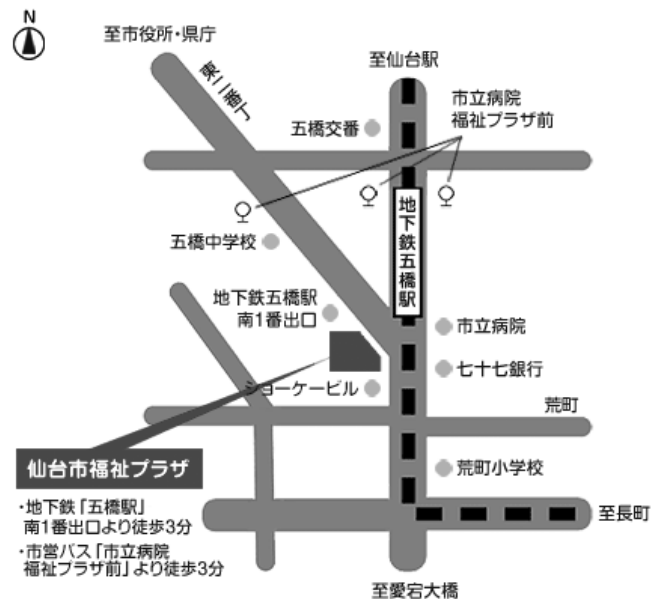
16:00～16:15 休憩

（フロアからの質問・コメントを回収します）

16:15～16:30 質疑応答

会場のご案内（仙台市福祉プラザ）

- ・ 市営地下鉄「五橋駅」
南1番出口より徒歩3分
- ・ 市営バス「市立病院・福祉プラザ前」
バス停より徒歩3分
- ・ JR・市営地下鉄「仙台駅」より
徒歩約20分（1.2km）



※セミナー会場は
11階「第1研修室」です。